

トータル保険だより

2019年3月号



(有)トータル保険がみなさんにお届けするニュースレターです。

《発行元》

有限会社トータル保険

平成31年3月1日 第275号

〒997-0853 鶴岡市小淀川色田69-28

TEL:0235-25-1315 FAX:0235-25-1064

URL: <http://total-hoken.net/>

精いっぱい 生きた証



今から50年前にMさんが3人目の子を出産した直後、分娩室には、緊迫した医師の声が響き渡りました。産声を上げず、赤ちゃんの体が、見る見る硬直していったからです。懸命な処置で、命は取り留めて頂いたものの、病名不明の難病で「余命4カ月」と宣告されました。赤ちゃんは男の子で、「自分で立つことができ、健康な体になるように」と願いを込めMさん夫婦は「健(けん)」と名前をつけました。Mさんは順調に回復し、健君を残して退院しましたが、危篤状態になっては駆けつける、ということがたびたびありました。健君は、小さな体で命の危機を何度も乗り越えましたが、けなげな頑張りもむなしく、1年9カ月で短い生涯を閉じました。悲しみに浸る暇もなく、すぐに担当医師から献体の申し出がありました。Mさん夫婦は、そうすることで医学の進歩に役立ち、将来助かる命があるのなら、と思って承諾しました。健君とお別れする前に、せめて一度だけでも家の布団に寝かせてあげたいと思ったMさんは、健君を抱いて家に連れて帰り、つかの間ではありました。

が、願いをかなえることができずした。とはいえ、時間的な制約があり、またすぐに健君を抱いて病院へ戻らなければなりません。病院に着いたMさんたちは、一般患者は入ることのないであろう扉の向こうの部屋の前を案内され、指示されるままに健君を医師に託しました。しばらくして部屋から出てきた医師の腕の中には、すでに健君の姿はなく、小さな白い紙包みを手渡されました。その包を開けると、中にはほんの少しの健君の髪の毛が入っていました。家路につき中で、さつきまでこの腕の中にいたのに、わずかな遺髪だけになってしまったと思うと、Mさんに寂しさと悲しさが込み上げました。子どもたちの世話など、日々の生活に追われて時間とともに悲しみは少しずつ癒されていきましたが、健君が病気になったのは、母親である自分に原因があったのだと健君に申し訳ない気持ちでいっぱいでした。月日は流れ、Mさんは、健君の命の意味を次のように受けとめられるようになりました。難病を持ってこの世に生を受けた健君の命は短いものでしたが、健君が生きた証として、献体を通して、後の人たちの助けにながったのかもしれない。精いっぱい生きてくれた健君には、お礼の気持ちでいっぱいです。

任せて安心

鶴岡市桜新町 渡辺さま

トータル保険は、一生懸命で安心感を与えてくれる担当者がいる事から保険をお任せしています。

今の時代はネットからでも保険の加入ができて、保険料が安いものもありますが、担当がいって何かあった時に対応し、また色々な情報を提供してくれるので心強いです。

情報提供してくれる内容は、正直、今の自分には置き換えられないものもありましたが、時間が経って「あの時の情報はこういう事だったのか」と思う事がありました。

反応が薄い時もあるかもしれませんが、加入している保険への対応だけでなく、これからも色々なお話を聞かせてください。



40代以降の女性に訪れる変化

エストロゲンとプロゲステロンという2種類の女性ホルモンは一定周期で卵巣などから分泌されますが、この量やリズムが乱れることで女性特有の悩みを引き起こします。閉経前後の約10年間を更年期といいますが、特にエストロゲンがこの時期に急激に減少して、様々な更年期障害を引き起こします

女性ホルモンと似た作用

体内に足りなくなってきたエストロゲンを補うために、よく似た働きをする成分が目されています。その代表格がイソフラボン。大豆の胚芽（芽になる部分）に多く含まれるポリフェノールの一種で、エストロゲンと似た構造と働きをします。大豆は長い食経験を持つ食品で、体に優しく安心な成分です。

年齢を重ねるにつれ骨量は低下

現在、多くの中高年の方が骨粗しょう症になっていると推測されています。骨は古くなった骨を壊し（吸収）、新しい骨をつくる（形成）ことを繰り返す「骨代謝」を行うことで成長します。最も骨密度が高くなる30歳前後のピークを過ぎると骨量はどんどん低下してしまいます。

カルシウムが過剰に溶け出すのを防ぐ

骨代謝のバランスが崩れ、骨吸収ばかりが働き、カルシウムがどんどんと溶け出すと骨はスカスカになってしまいます。イソフラボンは、骨吸収の暴走する働きを抑えて骨からカルシウムが過剰に溶け出すのを防ぎ、骨密度が下がらないようにする作用をもっています。



◆営業時間

朝9時から夜7時まで

◆お手伝いできること

- ・お金のセミナー・ライフプラン診断・ねんきん定期便読み解き方・笑顔相続プラン

◆主な資格

- ファイナンシャルプランナー（AFP）
- 損害保険トータルプランナー
- 相続診断士
- 住宅ローンアドバイザー
- 公的保険アドバイザー
- ライフプラン診断士



サラリーマン川柳

日本全国四七、五五九句の中から選ばれた優秀100句。第31回サラ川を彩る傑作の数々をご紹介します。今回は5作を紹介いたします。

- ① 言ったけど だれに言ったか わからない
- ② 何事も 妻ファーストで うまくいく
- ③ 体重計 上がる勇氣と 見る勇氣
- ④ 記憶にない 夫のどこに ほれたのか
- ⑤ 老後にと 米寿の父が 貯金する



はッピーカフェ:暮らしとお金のミニ情報



よくあるお話から

『国の年金は当てにできないから』とか『20代の自分たちは、もらえないのじゃないか?』などです。

まず国の年金は「貯蓄」でも「金融商品」でもなく「保険」です。保険であるからこそ、「予測できない経済的損失」が発生したときに保障が得られます。すなわち、遺族年金、障害年金、そして長生き保険である老齢年金です。この保険を維持するため、国民は年金制度への加入義務があります。仮に、国の保険に加入しないことを選択するのであれば、これらの保障をすべて自前で準備することになり、それは非常に非効率ですし、非現実的です。例えば老齢年金の受給権を放棄すれば、現役世代とほぼ同じ位の時間がある老齢期の生活費をすべて現役時代に準備しなければならず、これができる人はそうはいないでしょう。このため、何歳まで生きられるか分からない「予測できない経済的損失」に備えるのが年金です。



公的保険アドバイザー 大川 淳